

研究調査報告書

教科名 ( 音楽 )

項目		小学校音楽 音楽のおくりもの (17・教出)
教育基本法、学校教育法の下での学習指導要領の教科の目標との関わり		<ul style="list-style-type: none"> <li>○主要部分と選択可能なオプション (選択) 部分で構成され、効果的に組み合わせることにより表現と鑑賞の活動がバランスよく学習できるよう工夫されている。</li> <li>○発達の段階に応じて、我が国の音楽や文化、国際理解と関連する教材等、幅広いジャンルの教材が用意され、多様な音楽に触れることができるように工夫されている。</li> <li>○学習内容は2年ずつのまとまりで系統的に配置され、発達の段階に応じて継続的、発展的に学習できるように工夫されている。</li> </ul>
特色	内容	<p><b>&lt;基礎的・基本的な知識・技能を習得させる工夫&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○基礎的・基本的事項を身に付けさせるために、段階をおって学習できる教材を配列し、継続的・発展的に学習できるように工夫されている。</li> </ul> <p><b>&lt;思考力・判断力・表現力等を育成する工夫&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○音楽を言葉で表すために、活動のポイントの中や巻末に音楽を形づくっている要素「音楽のもと」についての説明や、「音楽を表すいろいろな言葉」が書かれており、学習を容易にする工夫がされている。</li> </ul> <p><b>&lt;主体的に学習に取り組む態度を養う工夫&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○活動のポイントを示すマークや発展的な活動例、直接書き込みができる欄が設けられており、主体的に学習することができるようになっている。「友達に紹介しよう」等、自然に学び合いができるよう工夫されている。</li> <li>○発達の段階に応じた全校合唱曲があり、全校で一つの音楽をつくっていく体験をとおして協働する喜びを感じることができるように工夫されている。</li> </ul> <p><b>&lt;音楽を愛好する心情と音楽に対する感性を育む工夫&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○歌唱共通教材「にっぽんのうた・みんなのうた」では、歌詞から想像される情景や季節感を感じる写真と説明文によりイメージを広げる工夫がされている。</li> <li>○全学年をとおして「日本の音楽」に関する教材を設定し、「わらべうた」「民謡」「お囃子」等に親しめるように写真等の資料が豊富に用いられている。</li> <li>○巻頭に著名人の写真やメッセージを掲載し、自分と音楽の関わりや音楽の持つ意味等を考える学習指導に取り組めるように工夫されている。</li> </ul> <p><b>&lt;音楽活動の基礎的な能力を培う工夫&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○歌唱・器楽・音楽づくり・鑑賞のいずれにおいても[共通事項]を手掛かりとして、児童が学習できるように構成されており、文章や巻末の「音楽のもと」等で繰り返し学習できるように工夫されている。</li> <li>○歌唱教材は、写真や挿絵から情景をイメージして表現できるよう工夫されている。器楽教材では、低学年からいろいろな楽器に親しめるよう工夫されている。また、巻末の「音楽ランド」には、全学年を通じて多くの楽曲が掲載されている。</li> <li>○音楽づくりは、鑑賞との関連を重視し、「音のスケッチ」の中で系統的、発展的に位置付けられている。また、学習の手順、活動例、ヒント等が豊富に示されている。</li> </ul>
	資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>○各教材の外側に開きながら参照できるように、楽器の紹介や奏法、音符、記号、リコーダーの運指表を巻末の折り込みページに掲載している。</li> <li>○透明シートや両開きの折り込みページを設定し、色鮮やかな写真やイラストなどから視覚的に活動のイメージをつかむことができるように工夫されている。</li> </ul>
	表記表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>○楽譜や文字の大きさも発達の段階に応じて設定されている。</li> <li>○発達の段階に応じて、記号や用語の表記が巻末や別記に示されている。また、楽譜上にある記号や用語について、指導要領外の内容は、「はってん」として表記している。</li> <li>○[共通事項]が見開きごとに題材の下に示されている。</li> </ul>
総括		<ul style="list-style-type: none"> <li>○たくさんの情報を紙面に盛り込んでいるため総ページ数が多くなっている。</li> <li>○各学年に示されている「にっぽんのうた・みんなのうた」は、歌い継いでいきたい我が国の歌を扱い、我が国の我が国の自然や四季、くらしと音楽の関わりが掲載されている。</li> </ul>

研究調査報告書

教科名 ( 音楽 )

項目	小学生の音楽 (27・教芸)	
教育基本法、学校教育法の下での学習指導要領の教科の目標との関わり	<p>○題材は、6年間をとおして系統的に設定されており、表現と鑑賞の関連を図りながら学びが学年の中でつながり、学年を超えてつながるように構成されている。</p> <p>○発達の段階に応じて、我が国の音楽や文化、国際理解、道徳的観点と関連する教材を配置し、多様な音楽に触れることができるように工夫されている。</p> <p>○学年の目標をふまえ、2学年ごとに共通の題材、活動内容が示され、段階的、系統的に学びが発展するように工夫されている。</p>	
特色	内容	<p><b>&lt;基礎的・基本的な知識・技能を習得させる工夫&gt;</b></p> <p>○6年間をとおして段階的、系統的学習できるような題材が構成され、題材に即した教材配列により、繰り返し学習や学びの積み重ねができるよう工夫されている。</p> <p><b>&lt;思考力・判断力・表現力を育成する工夫&gt;</b></p> <p>○譜例、吹き出し、重要な理解事項や学習事項をまとめた「ふり返りのページ」により、感じとったことをもとに言葉や音楽で表現できるように工夫されている。</p> <p><b>&lt;主体的に学習に取り組む態度を養う工夫&gt;</b></p> <p>○各教材の上部に題材のねらいをふまえた学習目標が示され、児童が学習の見通しを意識することができる。また、具体的な活動例やキャラクターが学習の目標に迫るためのヒントを示し、児童が主体的に学習できるよう工夫されている。</p> <p>○巻末の「みんなで楽しく」では合唱曲や合奏曲があり、様々な音楽に親しむことができるように工夫されている。</p> <p><b>&lt;音楽を愛好する心情と音楽に対する感性を育む工夫&gt;</b></p> <p>○歌唱共通教材「こころのうた」では、我が国の文化や自然について説明文や情景等が示され児童の知的好奇心や感受性を働かせて歌えるように工夫されている。や季節感を感じる写真と説明文によりイメージを広げる工夫がされている。</p> <p>○全学年をとおして「日本の音楽」に関する題材を設定し、「わらべうた」「民謡」「お囃子」等に親しめるよう表現と鑑賞の活動を関連させた題材構成になっている。</p> <p>○友達と協力したり、グループの中で意見交換したりしながら、ともに一つの音楽をつくる教材が設定され、協働する喜びを感じることができるよう工夫されている。コラムには、活動における具体的なヒントも示されている。</p> <p>○巻頭「音楽プリズム」は、音と音楽、心情、生活と関連した内容を掲載し、音素材からのアプローチにより、音楽を様々な観点から見つめる工夫がなされている。</p> <p><b>&lt;音楽活動の基礎的な能力を培う工夫&gt;</b></p> <p>○[共通事項]をどのような学習内容に活用するのか、題材、学習目標、学習活動文、学習情報に示されている。また、[共通事項]が文章や吹き出し、「ふり返りのページ」等で繰り返しながら確実な学びがなされるよう工夫されている。</p> <p>○歌唱教材は、学年に応じ音域に配慮し、言葉の抑揚やまとまりを感じ取らせるために、縦書きの歌詞が多く掲載されている。楽器の扱いについては、教材や学習活動の中に配置されており、次の教材に学びが継続するよう工夫されている。</p> <p>○「音楽づくり」では、[共通事項]を核として題材構成され、他の音楽活動と関連させながら取りあげられており、見通しを持って無理なく学習が進められるよう、学習の手順、約束事、活動例、ヒント等を具体的に示している。</p>
	資料	<p>○巻末等に楽器の紹介や奏法、リコーダーの運指等が写真やイラストで示されている。楽器の奏法が学習ページ内に示され、学習を円滑に進める工夫がされている。</p> <p>○すべての児童に学習内容の重要な部分が優先的に飛び込んでくるようにシンプルな文章表現やデザインになっている。写真やイラストの上に示されている楽譜、歌詞、文字は確実に識別できるよう濃度や配色が工夫されている。</p>
	表記表現	<p>○楽譜と縦書きの歌詞が教科書見開きで、楽譜等の表記も発達の段階に応じている。</p> <p>○記号や用語については巻末や「新しくおぼえること」として別枠に示されている。</p> <p>○題材ごとに通し番号がふられ、ツメによって題材のまとまりが示されている。</p>
総括	<p>○題材、教材の分量およびバランスは、各学年の授業時数、授業時間に配慮して設定されており、総ページ数が6学年を通じて統一されている。</p> <p>○発達の段階に応じて各学年に「歌いつごう日本の歌」として、童謡や唱歌などが取りあげられている。世代を超えて日本の文化を共有できるよう工夫されている。</p>	